

## 博物館セミナー(平成28年度)

回数	期 日	時 間	講 師	タイトル	内 容
1	8月28日	13時30分～ 15時30分	岩槻 秀明	利根川・江戸川周辺の植物、最新レポート	私は長期的な研究テーマとして、利根川中流域とその周辺の植生の調査に取り組んでいます。今回のセミナーでは、その調査の中から、河川周辺に生育する植物の近況や新しい発見などを紹介したいと思います。
2	9月18日	13時30分～ 15時30分	松丸 明弘	利根川と江戸川の舟運 —川舟、河岸、河岸間道—	江戸時代、運送の主役は船であり、江戸川・利根川を様々な種類の荷を積んだ川船が活躍した。この船運について、河岸や河岸間屋の様子、鮮魚(なま)街道などと呼ばれた河岸と河岸とをつなぐ道、様々な川船などについて話をします。
3	11月27日	13時30分～ 15時30分	市川 幸男	利根川・中川流域に分布する自然堤防について	昨年9月の鬼怒川大洪水で、鬼怒川の堤防が破堤氾濫しましたが、その際に自然堤防について注目が集まりました。今回、中川流域に広く分布する利根川・荒川の洪水に由来する自然堤防群について、少しばかり紹介をして参りたい。
4	12月18日	13時30分～ 15時30分	石田 年子	下総地方の女人講 —十九夜塔を中心に—	江戸時代の利根川流域には女性達によって多くの供養塔が造立されている。その中で下総地方(千葉県)に2300基ほど確認されている十九夜塔から、近世の女性達の思いや暮らしを推察する。
5	1月15日	13時30分～ 15時30分	中村 正己	幕末関宿藩家老木村正右衛門と彰義隊について	関宿藩家老木村正右衛門は、幕末関宿藩佐幕派のトップとして幼君久世広文を助て彰義隊に加わり上野戦争を戦い抜いた。上野戦争後は、みじめな敗走を続けた後に沼津に移住し、晩年は地元の教職に携わった一家老の事跡を紹介します。
6	2月19日	13時30分～ 15時30分	新井 浩文	築田家文書の世界Ⅳ —書状類③—	戦国時代に関宿城主であった築田氏は、古河公方足利氏の重臣でした。北関東への進出を狙う後北条氏とたびたび合戦に及びました。今回は、前回に引き続き築田家文書の中から書状を中心に取り上げ、築田氏の天正期以降の動向についてお話します。
7	3月19日	13時30分～ 15時30分	松井 哲洋	淀川水系と利根川水系の川船比較	古文書や現存する船の調査結果を参考に、2大都市圏の生活を支えてきた利根川水系と淀川水系の川船の比較をしてみたいと思います。